

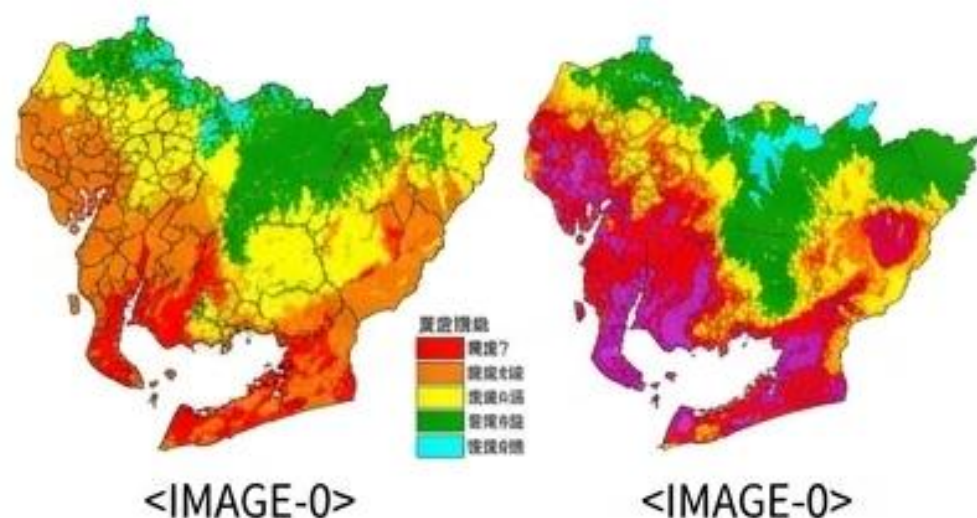
愛知県訪問看護ステーション協議会

災害訓練

9月9日10時 愛知県南海トラフ巨大地震発生
マグニチュード9クラス 最大震度7の地震が発生
各事務所BCPを発令行動を開始してください

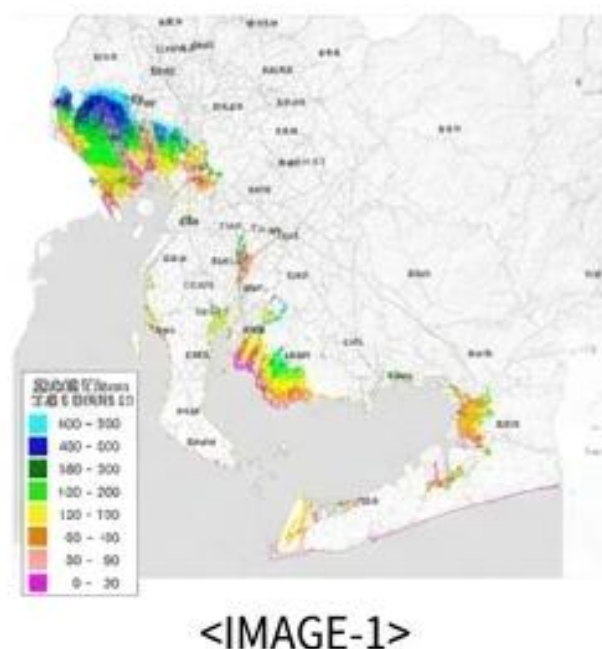
南海トラフ巨大地震：愛知県における最大クラスの想定

激しい揺れと液状化



- ⚠️ 県内の広範囲で「震度6弱以上」、一部地域で「震度7」
- ⚠️ 濃尾平野、岡崎平野、豊橋平野を中心に極めて高い液状化リスク
- ⚠️ 全壊・焼失棟数：最大約36万7,000棟

津波と浸水



- 🌊 最短数分で到達開始（豊橋市で最短9分、最大津波高20.2mの想定も）
- 🌊 ゼロメートル地帯を中心に非常に広い範囲で浸水

ライフラインの壊滅的被害（発生直後）

⚡ 最大約89%が停電・不通

💧 最大約698万人が断水

<IMAGE-2>

- ⚡ 電力・通信：最大約89%が停電・不通
- 💧 上水道：最大約698万人が断水

【名古屋東地区】 被害予測と状況推移

● 発生直後の状況



最大震度: 震度6弱～6強（広範囲で強い揺れ）



建物の倒壊: 人口・住宅密集地帯のため、古い建物を中心に多数の倒壊が発生



液状化リスク: 台地が中心のため全体的には低い
が、河川沿い等の低地で局所的に発生



津波到達と浸水: 内陸のため直接的な津波被害のリスクは極めて低い



ライフライン: 地区全域で大規模な停電、断水、通信障害（固定・携帯）が発生

【名古屋西地区】 被害予測と状況推移

● 発生直後の状況



最大震度: 震度6強 (地盤が軟弱なため揺れが増幅)



建物の倒壊: 強い揺れと地盤変状により、多数の全壊家屋が発生



液状化リスク: 全域にわたって【極めて高い】危険度 (水噴き・マンホール浮上)



津波到達と浸水: ゼロメートル地帯であり、堤防の被災・沈下により広範囲で深刻な浸水が発生



ライフライン: 設備の水没により、電力・ガス・水道・通信の全てが完全喪失

【名古屋北地区】被害予測と状況推移

● 発生直後の状況



最大震度: 震度6弱～6強



建物の倒壊: 揺れによる倒壊に加え、一部で火災の延焼リスクあり



液状化リスク: 庄内川などの河川周辺の低地を中心に【高い】危険度



津波到達と浸水: 海からの直接の津波被害は少ないが、河川を遡上する水位上昇や堤防被害による浸水に警戒



ライフライン: 大規模な停電と断水が発生、交通網（幹線道路）の機能が停止

【海部地区】被害予測と状況推移

● 発生直後の状況



最大震度: 震度6強



建物の倒壊: 激しい揺れによる倒壊被害が多発



液状化リスク: 地区のほぼ全域で【極めて高い】危険度（地盤の深刻な液状化）



津波到達と浸水: ゼロメートル地帯のため、地震直後から堤防被害による大規模な浸水が始まり、非常に広い範囲が水没



ライフライン: 浸水と液状化の複合要因により、全インフラが瞬時に機能不全に陥る

【尾張西部地区】 被害予測と状況推移

● 発生直後の状況



最大震度: 震度6強 (濃尾平野の広範囲)



建物の倒壊: 非常に強い揺れにより、甚大な全壊・半壊被害が発生



液状化リスク: 平野部全域で【極めて高い】液状化リスク。道路の亀裂や隆起が多発



津波到達と浸水: 内陸のため海からの津波リスクは低いが、木曽川周辺などでの河川堤防の損傷に注意



ライフライン: 液状化による地下インフラ (水道・都市ガス・下水道) の甚大な破壊

【尾張北部地区】 被害予測と状況推移

● 発生直後の状況



最大震度: 震度5強～6弱（県内では比較的揺れが小さいエリアを含む）



建物の倒壊: 揺れによる倒壊被害は他地区よりは少ないが、老朽家屋には被害



液状化リスク: 山地や台地が多いため全体的には低いが、河川流域では一部警戒



津波到達と浸水: 直接的な津波・浸水被害の対象外。ただし、山間部では「がけ崩れ」に警戒



ライフライン: 広域の系統連系による停電・通信障害が発生するが、設備の物理的損傷は比較的軽微

【尾張東部地区】 被害予測と状況推移

● 発生直後の状況



最大震度: 震度6弱～6強



建物の倒壊: 激しい揺れによる建物被害や屋内収容物の転倒が多発



液状化リスク: 丘陵地帯が中心のため液状化リスクは低い



津波到達と浸水: 津波到達はないが、急傾斜地での土砂災害（がけ崩れ）のリスクが存在



ライフライン: 大規模な停電と断水が発生。特に高台の住宅地への送水ポンプ停止による断水が深刻化

【知多半島地区】 被害予測と状況推移

● 発生直後の状況



最大震度: 震度6強～沿岸部の一部で震度7（極めて強烈な揺れ）



建物の倒壊: 揺れそのものによる家屋倒壊が多数発生



液状化リスク: 海岸部および半島内の平野部で液状化の危険度が高い



津波到達と浸水: 地震直後（数十分以内）に津波が到達。海岸部や河川付近で30cm以上の浸水が急速に広がる



ライフライン: 揺れと津波の物理的破壊により、全てのライフライン網が寸断

【西三河北部地区】被害予測と状況推移

● 発生直後の状況



最大震度: 震度6弱～6強



建物の倒壊: 古い木造住宅を中心に倒壊が発生



液状化リスク: 平野部の一部を除き、全体的な危険度は低め～中程度



津波到達と浸水: 内陸のため津波被害はないが、山間部では大規模な土砂崩れや崖崩れが発生する危険性



ライフライン: 送電網等の損傷により、広範囲での停電・通信障害が発生

【西三河南部西地区】 被害予測と状況推移

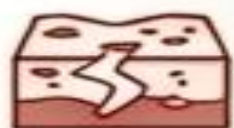
● 発生直後の状況



最大震度: 震度6強～一部震度7 (甚大な揺れ)



建物の倒壊: 極めて強い揺れにより、家屋の全壊被害が多数発生



液状化リスク: 地区の広範囲において【極めて高い】液状化リスク (地盤のドロドロ化)



津波到達と浸水: 海岸部や河川付近において、30分以内に津波 (30cm以上) が到達。堤防被害による平野部中心の広域浸水



ライフライン: 揺れ・液状化・津波のトリプルパンチにより、全インフラが完全に破壊

【西三河南部東地区】被害予測と状況推移

● 発生直後の状況



最大震度: 震度6強



建物の倒壊: 揺れによる建物の倒壊や、屋内家具の転倒が広域で発生



液状化リスク: 岡崎平野を中心に、液状化危険度が【極めて高い】地域が広がる



津波到達と浸水: 津波の直接的な影響は少ないが、液状化に伴う道路網の波打ちや陥没が激しい



ライフライン: 広域の停電・断水に加え、下水道管の破断・浮上による機能障害が深刻化

【東三河地区】 被害予測と状況推移

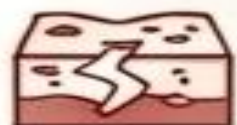
● 発生直後の状況



最大震度: 震度6強～広範囲で震度7（県内で最も強烈な揺れの一つ）



建物の倒壊: 壊滅的な建物崩壊、大規模な土砂崩れが同時多発



液状化リスク: 豊橋平野を中心に極めて高い液状化リスク



津波到達と浸水: 【最警戒】 豊橋市で最短9分後に津波到達。最大津波高は田原市で9.6m～20.2m。沿岸部から平野部にかけて致命的な浸水被害が発生



ライフライン: インフラ網は根元から物理的に破壊され、全機能が即座に喪失

東三河北部における被害想定：発生直後の状況（発災当日）



陸の孤島化の始まり

【揺れ・地形】

- ・最大震度は概ね「5強」
- ・津波・液状化リスク：小
- ・がけ崩れ等による土砂災害リスク：大（家屋倒壊等の恐れ）

【交通】

- ・土砂崩れ等による急激な道路被害
- ・中山間地域における「孤立状態」の発生

【インフラ・通信】

- ・広範囲での大規模停電・断水の発生
- ・通信トラフィック集中・設備破損による通信障害の発生

生き抜き、事業を繋ぐために ～協議会マニュアルの活用～



自助・互助による事業継続



- 備蓄の徹底：1つの事業所では限界があります。まずは自事業所で最低「3日分（推奨1週間分）」の飲料水・食料・簡易トイレ・燃料を確保してください。



- 地区連携（顔の見える関係）：発災後は公助（行政支援）の到着まで時間がかかります。日頃から近隣ステーションや地区連絡会と連絡網を構築してください。



発災後の迅速な情報共有（重要アクション）



- QRコードによる被害状況報告：発災後、通信が可能になり次第、地区別QRコードから「事業所被害状況報告」を入力してください（発災7日目までを目標）。



- 情報フロー：報告されたデータは地区理事を通じて集約され、愛知県看護協会や自治体へ情報提供され、必要な支援（物資・人的応援）のマッチングに繋がります。